

平 18.2.17
總 38 — 6
基礎小 47 — 6

補 足 說 明 資 料 ④

特別会計の歳出規模について

- 特別会計の予算内容の精査の出発点は、17年度予算ベースにおける純計額の約205兆円から、国債償還費・利払費等、地方交付税交付金等、財政融資資金への繰入、社会保険給付等、各々の改革論議が別途行われているものを除外した17.2兆円としたところ、これが12.3兆円まで減少。

31特別会計の歳出総額 412 兆円→460 兆円 (+48兆円)

純計額 205 兆円→225 兆円 (+20兆円)
(歳出総額－重複計上分)

重複計上分
歳出総額は会計間の取引等の
重複計上を含む見かけ上の数字

12兆円 (▲5兆円) ※	社会保険給付 50兆円 (+1兆円)	財政融資資金 への繰入 27兆円 (▲4兆円)	地方交付税 交付金等 19兆円 (▲0兆円)	国債償還費・利払費等 117兆円 (+28兆円)
---------------------	--------------------------	----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------

【主な増減の要因】

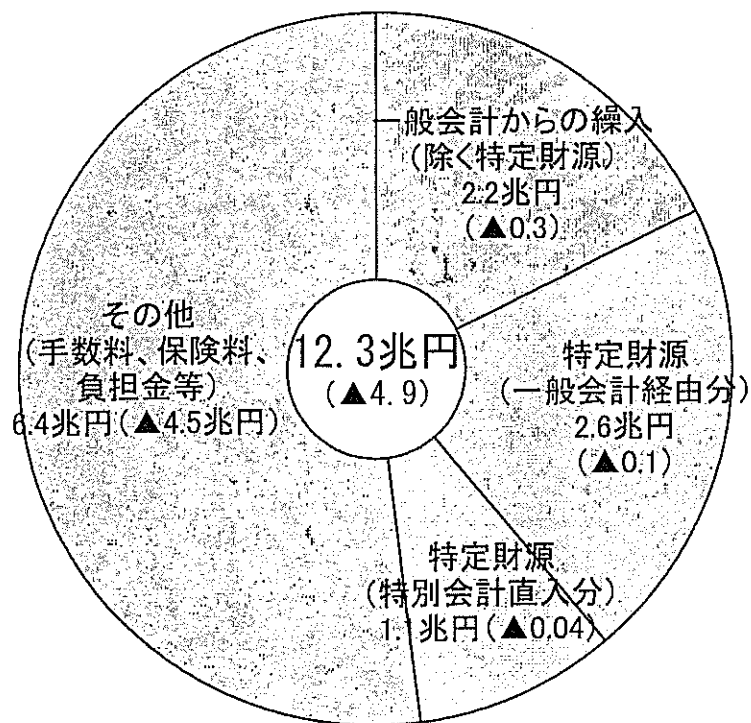
- 特別会計歳出総額の増(+48兆円)
 - ・国債整理基金特別会計の増 33.0兆円
 - ・財政融資資金特別会計の増 22.1兆円
 (いずれも主に国債償還費の増(国債満期到来額増及び財政融資資金の12兆円充当分))
- 純計額の増(+20兆円)
 - ・国債整理基金特別会計の増 28.9兆円
 - (主に国債償還費の増(財投債の満期到来額増及び財政融資資金の12兆円充当分))
 - ・厚生保険特別会計の減 3.8兆円
 - (財政融資資金繰上償還等資金の▲4.4兆円を含む)
 - ・財政融資資金特別会計の減 4.9兆円

※17年限りの特殊要因(財政融資資金繰上償還4.4兆円)を除く実質的削減額は0.5兆円

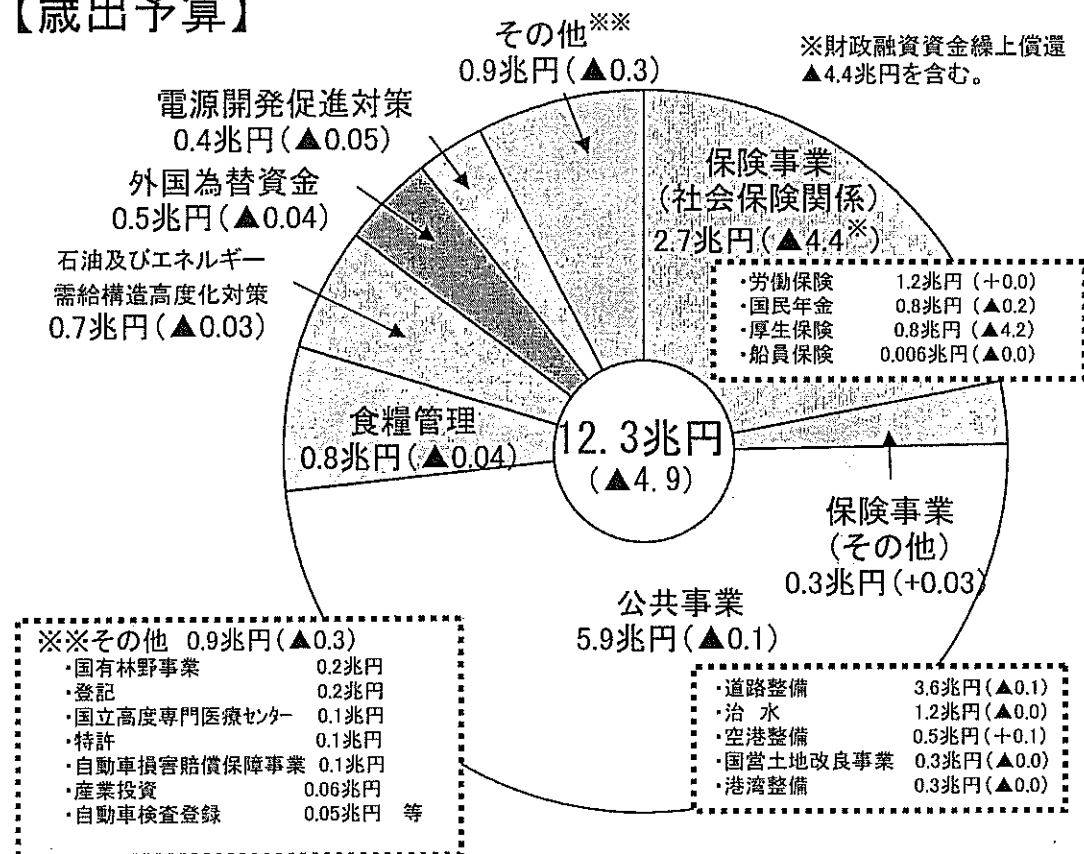
12. 3兆円の内訳

○ 純計額から国債償還・社会保険給付等を除外した金額は、17年度予算において17. 2兆円であったところ、18年度予算においては12. 3兆円(▲4. 9兆円)。17年限りの特殊要因(財政融資資金繰上償還4. 4兆円)を除く実質的減少額は0. 5兆円。

【歳入予算】



【歳出予算】



平成18年度予算における特別会計の積立金、剰余金の活用 [合計13.8兆円]

(1) 財政融資資金特別会計 : 12兆円

○特別会計改革、国債残高累増の抑制の観点から、臨時緊急措置として、12兆円(平成17年度末金利変動準備金:23.7兆円の概ね1/2)を国債整理基金に繰入れ、国債残高を圧縮。

(2) 外国為替資金特別会計 : 1兆6,220億円

○外貨運用等により毎年度発生する剰余から一般会計に繰入れ。

(3) 産業投資特別会計 : 1,202億円

○研究開発投資の重点化等、歳出の徹底した見直しを行い、必要額を確保した上で、その余は一般会計に繰入れ。

(4) 電源開発促進対策特別会計 : 595億円

○歳出を厳しく見直し、必要額を確保した上で、その余は一般会計に繰入れ。

(5) 農業経営基盤強化措置特別会計 : 295億円

○一般会計繰入れの停止等により剰余金の削減に努めてきたが、抜本的対応策として、歳出を厳しく見直し、必要額を確保した上で、その余は一般会計に繰入れ。